神物に関するもの

鼻取地蔵

《上江花》

上江花の字竹之内の俗称地蔵の森には、昔、地蔵堂があって、地蔵様が祀られてあった。いま屋敷の上にある地蔵堂は、ここから移したといわれている。

私の家の先祖、巳之助爺様は、妻が足が悪いので、荒くれかき(荒代)には一番難儀したという。他の仕事は一人でもできるが、荒くれかきは、必ず馬の鼻取が必要なので困ってしまった。馬が早いので、子どもには最も適した仕事である。

ある年、どこからか子どもが来て、「俺らが鼻取りしてくれっぺ」と言った。どこの童か見たこともないが、忙しい時なので鼻取りをしてもらった。昼になったので、仕事を止めた。近くの「イズボ」で足を洗った頃までその童はいたのだが、「お昼食いに行かねえか」と言ったときからどこに行ったのか、見当らなかった。

鼻取地蔵が足を洗ったイズボ